

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|---------------------------------|---|----|---------------|--|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | | 法令を遵守したスペースを確保したうえで、安全面に配慮している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 4 | 1 | | 法令を遵守した職員数を確保したうえで、時間帯や利用者の状態に応じて調整を行っている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | 1 | | 現状は大規模な設備は必要としていないが、危険な箇所には常に配慮し策を講じている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 2 | 3 | | すべての職員が平等に参画しているかという点において改善の必要を感じる。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | | 職員間で共有し、業務改善につなげていけるように努めている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | | | 行っているが、タイムラグが生じてしまう事が多いので、より迅速に対応していきたい。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 2 | 1 | 1 | 第三者評価はまだ行っていないが、関連施設から助言を受けることで、業務改善につなげていけるように努めている。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 3 | 2 | | 広く研修は紹介しているが、参加者が偏ってしまう傾向はある。皆が参加しやすい雰囲気を作っていけるよう努めていきたい。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 2 | | アセスメントシートを共有し、複数の目で分析及び課題の抽出を行えるように努めている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 2 | 2 | 1 | 標準化されたアセスメントツールに準じた独自のアセスメントツールを使用している。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 2 | 3 | | ミーティングなどで意見交換し行っている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | | | 利用者の状況に応じて柔軟に対応している。一方で、あえて固定化している部分もある。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | | | 平日ではできないことを長期休暇に設定したり、柔軟な支援を検討している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | 個別と集団のバランスは個々の利用者の状況等によって変わってきてしまうことも多いが、柔軟に対応できるよう組み合わせている。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 2 | 1 | 2 | 日々、ミーティングなどで努めているが、『必ず』とは言いきれない面もある。また、職員すべての参加が難しいこともあり、行き届かない事もある。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 1 | 2 | “朝ミーティング記録表”の活用など確認・共有に努めていきたい。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | | 支援記録、日報、連絡帳などわかりやすい記録に努め、それをもとに振り返りを行っている。 |
| | 18 | 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 1 | | 放課後等デイサービス計画を共有し、複数の目で再アセスメントを行い見直しの必要性を判断するように努めている。 |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 5 | | | 支援計画に盛り込み支援に活かしているが、職員間で認識にバラつきを感じる。ガイドラインの研修など検討していきたい。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | 1 | | 管理者・児童発達支援管理者が主に参画しているが、必要な時には、参画するにふさわしい人を選抜することもある。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 5 | | | 基本はお迎え時に行っている。それが難しい場合には、電話にて情報共有を図るようにしている。学校主催の支援会議にも参画している。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 2 | 2 | | 現在、対象者がいないが、今後受け入れることがあれば、十分な連携を取る用意はある。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 3 | 1 | | 積極的には行っていないが、保護者の意向があった場合、必要性を感じた場合には努めている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 1 | 1 | 現在までにまだ該当者がいないが、将来に向けて、文書などだけでなく、積極的に情報提供を行っていく用意はある。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 2 | | 助言や研修の機会は活用するように努めている。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 3 | | 2 | 地域の公園にでかける機会を設定し、交流できるように心がけている。今後は、より積極的な形で広げていきたいと思っている。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | 1 | | やりきれていない現状である。積極的に地域に働きかけていく機会を検討していきたい。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | 保護者と直接顔を合わせる機会がなかなか持たないが、その分、連絡帳でのやりとりを密に行えるように心がけている。それでも、共通理解が難しいと感じることもある。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 3 | 1 | | 保護者支援にも努めているが、個々の指導員の力量の差もあり、ペアレント・トレーニングとまでは難しくやりきれていないと感じる面もあるよう。そういう研修の機会も検討していきたい。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | 説明時に口頭での説明と同時に、常に教室内に掲示も行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | | 連絡帳や面談等で、保護者の悩みごとや困りごとを受け止め助言するなど保護者支援に努めている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 2 | 1 | 1 | 現状では、明確な形では行っていない。どんな形なら無理がないかを検討しながら、ぜひそういう機会も設けていきたいと思っている。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | | 対応マニュアルをもとに対応。各職員に報告・連絡・相談を徹底し、大事に至る前に迅速に対応するように努めている。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 2 | 2 | 1 | 定期的に活動の様子を広く紹介したり発信したりはやりきれていない。今後、HPの活用など検討していきたい。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | 個人情報同意書もとりかわし、十分に注意している。が一方で、注意してもしきれないジレンマも感じる。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | | コミュニケーションツールの利用、言語の文字化など個々人の特性に応じて配慮するように努めている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | | 2 | やりきれていない現状である。積極的に地域に働きかけていく機会を検討していきたい。 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | | | マニュアルを周知する機会を設けるとともに、常に見えるところに掲示してその徹底に努めている。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | 1 | | 年に2回の避難訓練を義務づけている。いろいろなパターンを想定した訓練を今後は検討していきたい。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | 2 | | 虐待防止チェックリストを常に見えるところに掲示し意識化させると同時に、それを活用した研修も行っている。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 5 | | | 身体拘束に対する手続きは踏んでいるが、“放課後等デイサービス計画”には支援内容に盛り込んで記載。より明確な形式に配慮し職員に対しても周知徹底を図っていきたい。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 2 | 2 | | アレルギーの情報は把握しているが、医師の指示書が必要な利用者は現状ではない。必要となれば、適切な対応を図っていきたい。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | | 報告書も作成し、振り返りにも努めている。ただ、情報共有が遅滞してしまうこともあるので、より迅速性を徹底していきたい。 |

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。